

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚扁平上皮癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Follow-up and prevention. Squamous cell carcinoma. In :Miller SJ, Maloney ME, Eds, Blackwell Science, Inc. Cutaneous Oncology: Pathophysiology, Diagnosis, and Management.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ11-1, WEB-CQ11-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (VI)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名		
	雑誌 ID		
	巻		
	号		
	ページ	565-570	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1998:	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Shin DM,	Dept. of Thoracic / Head and Neck Medical Oncology, University of Texas, M.D. Anderson Cancer Center
その他著者 1		Maloney ME,	Pennsylvania State University College of Medicine
その他著者 2		Lippman SM.	Dept. of Thoracic / Head and Neck Medical Oncology, University of Texas, M.D. Anderson Cancer Center
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			

	その他著者 9		
	その他著者 10		

レビュー研究の6項目	目的	皮膚扁平上皮癌の経過観察の仕方についてのレビュー
	データソース	不明
	研究の選択	不明
	データ抽出	不明
	主な結果	
	結論	経過観察の目的は3つある。1) 原発巣切除部における再発の早期発見、2) 遠隔転移の早期発見、3) 新たな病変の早期発見である。理学的には患者の訴えを良く聞き、原発巣部を慎重に診察し、所属リンパ節領域を良く触り、最後に特に日光露出部に新生病変がないか観察する（白人：5年以内に50%に新生病変がみられる）。転移の70%は2年以内に、また、そのほとんどは1年以内に起こる。経過観察推奨間隔：最初の2年は3ヵ月毎、その後3年は12月毎、In situ は6ヵ月毎に行う。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ VI ） SCC 患者の経過観察方法について、よくまとめられている。